

With

ウイッス

～私たちが私たちらしく暮らせる地域づくりを
みんなですすめようという意味を込めています～

西宮市社会福祉協議会 共生のまちづくり課 生活支援コーディネーター

音川（全市）・高井（中央）・金森（鳴尾）・牧（瓦木）・中川（甲東・甲陽園）・高田（北部）

〒662-0857 西宮市中前田町1-23 地域共生館ふれぼの内

TEL(0798)61-1361 FAX (0798)61-1409 kyoseimachi@n-shakyo.jp

生活支援コーディネーター かつどうトピックス

つどい場講座で「つどい場の魅力」を発信！

誰でも参加できるオープン版の講座として「つどい場講座」を開催しました。第一回目は尼崎ENGAWA化計画代表の藤本遼さんから講演いただき、「つどい場とは参加者同士の交流がうまれる場所。余白（地域で活用できる空間や物）をまなざす視点をもって、一人でも仲間とでもいいから、自分の好きな事・得意な事を起点に、楽しみながら始めてみるのが大事。」とお話いただきました。

さらに第二回目はつどい場サロン陽だまりの川手さん、香櫨園ほっとサロンの藤川さんから、つどい場をはじめたきっかけや、場を通して生まれるつながりについてお話しいただきました。

つどい場はそれぞれ個性があって違いもありますが、「場を通した関係性の広がり、深まり、混じりあい」は共通しており、人と人とのつながりや物語がたくさん生まれる素敵な場所です。



2019年10月開催

もっと深めたい方
向けに、つどい場
講座ステップ版も
開催します！



生活支援コーディネーター訪問記 “ええもん めっけ”

香櫨園ほっとサロン ～こじんまりとした家庭的なつどい場～

こんにちは！
生活支援コーディネーターの
高井です！
今回は活動開始から5年を迎えた『香櫨園ほっとサロン』を紹介します。ご自宅を地域に開放し人々が集う『住み開きのつどい場』。その魅力をお届けします！

中央圏域生活支援 Co
高井茜里



医師としての経験や多く患者さんとの出会いから、参加者同士が語り合い、病気の悩みや気持ちを吐露できる場をつくりたいと思い、第3水曜日に自宅を使ってサロンを開かれています。

サロンで生まれる支え合い

参加者にとって心の拠り所となっているサロン。また主催者にとって毎回のサロンは暮らしの楽しみの一つ。そんな活動をそばで支えてくれるパートナーの存在、全てが交わりあって支え合い活動が育まれています。



5周年イベントは多くの方が集い語り合いました

開催日に玄関前に立てられる看板。使わなくなったお風呂のフタが変身！



共 生 の ま ち づ くり 実 践

その① 付箋（ふせん）

共生のまちづくりを実践する地域の常設拠点として、2016年に誕生した「地域共生館 ふれぼの」そこで生まれてくるエピソードをお届けします！



ふれぼの三周年の記念に、ふれぼのへの希望等を書いてもらい、4年目の活動のヒントにしています！

「成年」の“犬の絵”
老若男女が書いてくれた犬
「顔が左を向いている犬が多いね」と見る人の会話も弾みます。



用件を書いたり、目印として貼り付けることができる小さな紙「付箋（ふせん）」
最近は大きさや色、形もいろいろ、貼ったり取ったりも自由にできて、とても便利です！

あったかエピソード 「昭和は長かった！」

開館一年目から毎年、夏に実施している「ふれぼの縁日」。地域活動センター「ふれぼの」メンバーがホスト役になって、地域の子どもや様々な方が楽しめる企画を行います。昨年のテーマは「ハワイアン」、ハワイの音楽や飾り、食べ物を取り上げた内容で行ないました。そして、今年のテーマは がらっと変わって「昭和」！63年と1週間もあった「昭和」の時代、皆さんのイメージはどんなのだろう？と、縁日の本番に向けて、付箋でそのイメージを書いてもらう企画を行ないました。「戦争」「空襲」「公害」「日の丸弁当」・・・うん、うん「万博」「太陽の塔」「阪神パーク」・・・あったなあ・・・「レコード」「ブラウン管テレビ」「ファミコン」・・・懐かしい！！「松田聖子さん」「サザエさん」・・・続いている、続いている たくさんの付箋を参考に、縁日の日には、昭和中期？ぐらいの懐かしい瓶ラムネ、ハムカツ、ナポリタンなどを用意。

そして、この企画を知った地域の方が実際に使っていた「黒電話」「5つ玉のそろばん」「下駄」を持ってきてくれました。昭和を知らない平成の子どもたちに説明している あったかい風景も見られましたよ。



参加型のカフェとして運営している「ふれぼのカフェ」ご近所の方や通りがかった方も来てくれています。「どんな方かな？」「お話は好きだろうか？」など初めて会った時には分からないことも沢山あります。そんな時、“付箋”を使った企画は、その方の好きなことや考えていることなどが分かって便利です。特別な準備をしなくても、テーブルにそっと付箋を置いておくことで自然と手をのばし、参加してくださる方もいます。“参加の機会”、意外に待っている方も多いかもしいですね！

地域活動センター「ふれぼの」メンバーがいつも作っている「木エキーホルダー」のデザインを「付箋」で募集、糸のこボランティアさんの協力もあり、数点が完璧に再現され作品になりました。



考えたり、書いたり、作ったりは誰にとっても楽しく大切なこと！カフェでは“一緒に”考える姿も見られます。

なに、書こう・・・
なに、作ろう・・・

